

宗祖降誕800年

慶讃法要営む

真蹟「天目授与曼荼羅」を修復

顕本法華宗総本山妙満寺(京都市左京区)で22・23の両日、宗祖日蓮大聖人降誕八百年慶讃大法要が4座にわたり営まれた。初日午前の第1座では、大川日仰管長(妙満寺貫首)を大導師に宗簡第一の宝である日蓮大聖人真蹟「天目授与曼荼羅本尊」の修復眼法要が営まれた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため参拝は制限し、YouTubeで生中継した。

「天目授与曼荼羅本尊」

は文永11年(1274)

日蓮大聖人が弟子の天目

上人のために書き授与し

たと伝わる。しかし傷ミ

が激しく、宝物庫に安置

されていた。降誕八百年

を記念し、別格山天妙国

寺(東京都品川区)の寄

進により修復が行われ、

この日に開眼となった。

河野時巧宗務総長が清淨

し、大川管長が筆をかき

して開眼。参列者は合掌

顕本法華宗
総本山妙満寺

で宗祖に報恩感謝した。

大川管長は慶讃文で

「世界規模の天変地妖相

次ぎ、戦乱の業火は止ま

ず、新型コロナウイルス

が跳梁しその災禍止まる

ところを知らず、これ皆

正法に背き全宇宙地球上

の主がごくるまゐ給

う人類が傲慢のなせるわ

ざ」と述べ、疫病や戦乱

の中にも懸命に立正安国

を説いた日蓮大聖人にな

らって僧俗共に異体同心

・不惜身命の布教に邁進

することを誓った。

寄進者である天妙国寺

の藤崎行学住職、修復を

担当した藤岡光影堂の藤

岡春樹氏、式装束束を新

調した横庄法衣店の横村

隆一氏には大川管長から

感謝状と記念品が手渡さ

れた。

参列した神戸市須磨区

・立正寺族の大崎真理

子さんは「このような降

誕八百年の時に立ち会え

て非常に感激していま

が6月6日午後一時半か

ら妙満寺本堂で開催され

る。アンサンブル弦伍樓

と打楽器奏者の中山航介

す。法華経、宗祖の教えが過去・現在・未来、百年後、千年後まで長く続くことを願っています」と喜びを話した。

法要に先立ち、修復の監修者である中尾堯氏(立正大学名誉教授)が講演。「天目授与曼荼羅」を、現在は焼失した「佐渡始頭曼荼羅本尊」の姿を彷彿とさせる、顕本法華宗大僧で天台日蓮門下すべてにとつての至宝だと位置づけた。「幾筋もの細いしわが縦に走っています。縦じわというのは長い間、この曼荼羅本尊が掲げられ多くの僧侶に礼拝された法華経信仰の証です」と、宗祖や開祖・日什上人から伝えられてきた信仰の篤さに敬意を表した。

記念コンサート開催
降誕八百年記念コンサート「幻想組曲妙満寺」が6月6日午後一時半か



発行所

仏教タイムス社

東京都新宿区市谷町 2-1-7
東京ビル6F 〒162-0843
電話代表 (03)3269局6701番
FAX (03)3269局6700番
京都支局
京都市下京区若宮通松原下ル
電燈町53番地 ファースコート
五条若宮202号 〒600-8451
電話 (075)351局0699番
FAX (075)351局6477番
6ヵ月9,900円・1年19,800円
振替00170-6-33097番
http://www.bukkyo-times.co.jp
©仏教タイムス社 2021